

「福島県農業総合センター開所20周年記念セミナー」開催要領

1 目的

福島県農業総合センターは、平成18年4月に農業関係の試験研究機関や農業教育機関などを再編統合して設立され、今年で開所20周年を迎えた。

本センターは農業振興の技術的拠点として、「ふくしま」ならではのオリジナル品種の開発をはじめ、作物の栽培や家畜の飼養、病虫害防除、気候変動に対応した技術など、様々な課題の解決に向け、試験研究に取り組んでいる。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災以降は、農業における放射性物質吸収抑制対策や、被災地域の営農再開に向けた試験研究にも、平成28年に設置された浜地域農業再生研究センターを中心に取り組みを進めている。さらに、農業後継者育成機関である農業短期大学校では、施設の改修や新設による教育環境の充実が図られ、新たな一步を踏み出したところである。

農業総合センター開所20周年を記念し、「福島県のこれからの農業」をテーマに、セミナーを開催する。

2 日時 令和8年11月6日（金）13：00～16：00

3 場所 福島県農業総合センター 多目的ホール ※オンライン併用

（住所：福島県郡山市日和田町高倉字下中道116番地 電話：024-958-1700）

4 内容

（1）記念講演

テーマ：福島県農業の強みとこれからの試験研究と人材育成について～稲作を中心に～

講師：福島大学 副学長 新田洋司

（2）農業総合センターの取組について

- ア 県オリジナル品種の育成と各種農作物における高温対策技術の開発
- イ 県産農産物の信頼確保及び環境と共生する農業の推進に向けた試験研究
- ウ GAP認証取得による経営改善の効果と情報発信の取組
- エ 有機農産物の低投入持続型栽培技術の確立と有機農業の普及推進活動
- オ 福島県における農林水産物緊急時モニタリングの取組
- カ 震災からの果樹産地復興に向けた新たな技術開発
- キ ふくしまの新しいブランド牛 福島牛「福粕花」
～酒かすを食べた牛のおいしさを科学的視点から～
- ク 中山間地域での営農活動上の課題とその解決に向けた技術開発について
- ケ 浜通りにおける震災復興に向けた技術開発 ～先端プロの取組を中心に～
- コ 旧避難指示区域の営農再開に向けた一連の取組み
- カ アグリカレッジ福島の役割と成果について

※内容・タイトルは変更となる場合があります。

5 参集範囲

農業者、消費者、市町村、県内農業関係機関・団体、県機関 等